

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

**橋梁耐震対策・長寿命化修繕事業 (継続)**

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

<b>予算額</b>		139,592		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	58,850	事業期間	令和2年度
		地方債	44,400	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり
	一般財源		36,342	施策の内容	6 橋梁震災対策の推進
		全体事業費	139,592		

**事業の目的**

橋梁の耐震性の向上を図り、災害時における緊急輸送路等を確保するとともに、長寿命化修繕計画に基づき、計画的かつ予防的な修繕を行うことで道路交通の安全性を確保します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

耐震化予定の橋梁33橋のうち、18橋について落橋防止等を施工しました。また、令和元年度に市管理の全240橋の橋梁を対象とした橋梁長寿命化修繕計画を見直すとともに、18橋について修繕工事を施工しました。

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

事業概要	事業費
国道六号10号橋外耐震補強・長寿命化詳細設計委託	18,000
東真鍋1号橋（木田余立体橋）耐震補強工事	40,000
国道六号9号橋外耐震補強・長寿命化修繕工事	49,000
常磐線3号橋（二番橋）外1橋架替工事に伴う作業ヤード設計委託等	32,592
計	139,592



国道六号9号橋 現況

**【今後の予定】**

令和6年度までに、27橋の耐震化工事及び46橋の修繕工事を計画しています。

**期待される効果・成果目標等**

計画的に橋梁の耐震補強及び予防的な修繕を実施することにより、予算の平準化と維持管理費用の削減を行い、道路交通の安全性と信頼を、将来にわたり確保することができます。

※令和元年度末進捗率（予定）：耐震対策事業 54.5%（18/33），長寿命化修繕事業 7.5%（18/240）

款	土木費	項	道路橋梁費
---	-----	---	-------

**道路新設改良事業 (継続)**

担当	建設部 道路建設課
----	--------------

<b>予算額</b>		444,009				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	75,000	事業期間	令和2年度	全体事業費	444,009
		地方債	315,900	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他	0	施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	53,109	施策の内容	3 生活道路の整備及び管理		

**事業の目的**

幹線道路（Ⅰ級幹線，Ⅱ級幹線）の拡幅改良工事，歩道整備や生活道路・狹隘な市道の拡幅工事，舗装工事，交通安全施設工事等を計画的に進めることにより，道路機能の向上と市全体の道路網確立を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

道路延長（平成31年4月1日現在） L = 1,528,429m（6,960路線）  
うち改良済延長 L = 731,608m（改良率47.87%）

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

区分	概要	事業費
道路改良工事費	29路線 L = 2,870m	321,750
測量設計委託料	10路線 L = 2,988m	45,100
公有財産購入費	21路線	24,760
物件移転補償費	19路線	41,060
役務費	鑑定料，登記料	8,800
事務費等		2,539
計		444,009

**【今後の予定】**

住みよいまちの実現の基礎となる生活道路の整備を計画的に進めていきます。



市道中3号線 整備状況

**期待される効果・成果目標等**

日常生活の利便性向上及び地域環境の改善を図るとともに，歩行者と自転車の安全を確保し，交通事故防止に寄与します。また，緊急車両等の通行を可能にし，市民の安全を守ります。

款	土木費	項	河川費
---	-----	---	-----

**都市下水路整備事業／小規模排水路整備事業 (継続)**

担当	建設部 下水道課
----	-------------

<b>予算額</b>		67,000				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	36,629	事業期間	令和2年度	全体事業費	67,000
		地方債	24,800	施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり		
		その他		施策名	5 雨水等による浸水被害に強いまちづくり		
	一般財源		5,571	施策の内容	2 都市下水路の整備		

**事業の目的**

都市下水路や小規模排水路を計画的に整備することにより、雨水を速やかに排除し、豪雨による道路冠水等を解消するとともに、生活環境の改善を図ります。

**事業の概要**

◎都市下水路整備事業

**【これまでの経緯】** 平成22年度から、西根竹の入都市下水路整備工事を実施しています。

- 【今年度事業内容】**
- ・西根竹の入都市下水路整備工事 L=50m
  - ※特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用します。
  - ・荒川沖都市下水路整備工事 L=20m

**【今後の予定】** 西根竹の入都市下水路については、引き続き、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、年次計画により整備します。

◎小規模排水路整備事業

**【これまでの経緯】** 平成29年度から、田中三丁目地内小規模排水路整備工事を実施しています。

**【今年度事業内容】** 田中三丁目地内小規模排水路整備工事 L=50m

**【今後の予定】** 今後も引き続き、浸水対策の一環として整備を行っていきます。



西根竹の入都市下水路整備状況

**期待される効果・成果目標等**

大雨による浸水被害が減少し、市民の生活環境の向上に寄与します。

**地域公共交通確保維持改善事業 (継続)**

担当 都市産業部  
都市計画課

<b>予算額</b>		12,822				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	12,822
		地方債		施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	4 人と環境にやさしい公共交通体系の構築		
	一般財源	12,822	施策の内容	1 公共交通網の形成			

**事業の目的**  
地域公共交通網形成計画に基づき、まちづくりと連携した、各公共交通が相互に補完し合うネットワークの構築を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**  
平成29年3月 土浦市地域公共交通網形成計画策定  
平成29年4月～ 地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施（公共交通マップ、マイ時刻表サービス、隣接市町の協議会参加）

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)	
概 要	事業費
協議会負担金（協議会運営費、広報・PR事業費など）	1,005
バス運行対策費負担金	2,186
霞ヶ浦広域バス・千代田神立ライン運行補助金	2,789
バス路線運行方策検討調査	6,842
合 計	12,822



土浦市地域公共交通活性化協議会の様子



つちうら公共交通マップ

**【今後の予定】**  
地域公共交通網形成計画に基づく施策を継続実施するとともに、市全体の公共交通ネットワークにつきましては、公共交通不便地域の解消を図るために、コミュニティバスの試験運行の導入に向けた調査を行います。

**期待される効果・成果目標等**  
各公共交通の機能分担と連携強化、公共交通環境の整備による利用促進、既存の公共交通の確保維持を図るとともに、バス路線の運行方策を検討していくことで、誰もが利用しやすい持続可能な公共交通網の実現に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

**土浦北インターチェンジ周辺地区土地利用促進事業 (新規)**

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

<b>予算額</b>		4,900				(単位：千円)
財源内訳	特定財源	国県支出金	事業期間	令和2年度	全体事業費	4,900
		地方債	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他	施策名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備		
	一般財源	4,900	施策の内容	3 インターチェンジ周辺地区の整備		

**事業の目的**

流通拠点である土浦北インターチェンジ周辺地区を、広域交通ネットワークを活かした産業発展を促す拠点として適切な土地利用の誘導を行うことにより、民間事業所等の立地推進を図ります。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

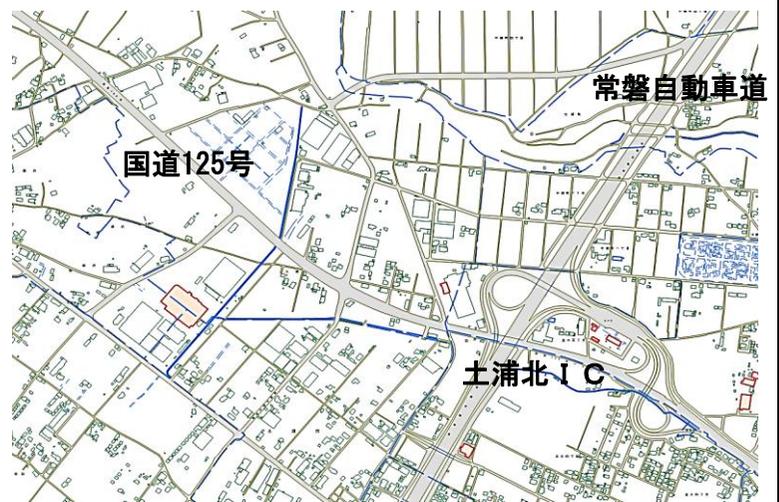
土浦北インターチェンジ周辺地区について、土地利用状況等を把握するとともに、新たな茨城県のプロジェクトを踏まえ、現状調査を行います。  
また、土地所有者や立地を希望する企業のニーズ調査を実施します。

(単位：千円)

概要	事業費
現状調査等委託料	4,800
事務費(旅費)	100
計	4,900

**【今後の予定】**

適正な土地利用の誘導を図り、産業発展を促す拠点整備を推進します。



土浦北インターチェンジ周辺図

**期待される効果・成果目標等**

土浦北インターチェンジ周辺地区については、土地利用の誘導を行うことなどにより、民間事業所等の立地促進を図ることで、地域経済の活性化や雇用の場の創出など、多くの経済効果が期待されます。

このことから、土地所有者や立地を希望する企業ニーズなどの現状調査を行うことで、新たな土地利用の促進が図られます。

**亀城モール整備事業 (継続)**

担当 都市産業部  
都市計画課

<b>予算額</b>		105,877		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	41,954	事業期間	平成26年度～令和2年度	全体事業費	934,854
		地方債	37,700	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
	一般財源	26,223	施策の内容	2 都市計画道路等の整備			

**事業の目的**

川口一丁目交差点から中央一丁目交差点北側において、遊歩道の整備を行い、快適な歩行空間の確保と、潤いのある都市空間の形成を図ります。

**事業の概要**

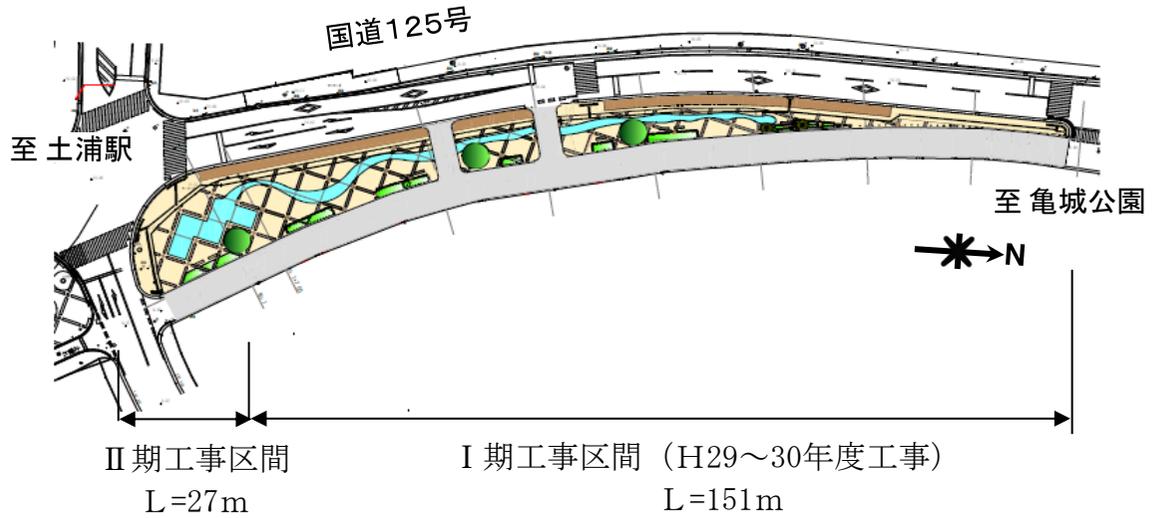
**【これまでの経緯】**

- 平成26年度 補償調査の実施
- 平成26～令和元年度 用地補償
- 平成29～平成30年度 I期整備工事

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

概要	事業費
用地補償	75,585
II期整備工事等	28,760
鑑定料等	1,532
計	105,877



**期待される効果・成果目標等**

歩行者等の安全性を高めるとともに、市民や来訪者にとって潤いのある憩いの空間が形成されます。また、イベント等での活用を図ることで、にぎわいを創出するとともに、中心市街地の更なる魅力向上に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

**ブロック塀等安全対策事業 (新規)**

担当	都市産業部 建築指導課
----	----------------

<b>予算額</b>		700		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	525	事業期間	令和2年度～令和6年度
		地方債		施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり
		その他		施策名	1 災害に強い安心して暮らせるまちづくり
	一般財源		175	施策の内容	7 既存建築物等の耐震化の推進
			全体事業費	6,700	

**事業の目的**

避難路や通学路等に面する危険なブロック塀等の撤去を促進することで、災害に強く、市民が安心して生活できる安全なまちづくりを目指します。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

避難路や通学路等に面する、危険なブロック塀等の所有者が、ブロック塀の解体工事を行う場合、その費用の一部を補助する制度を開始します。

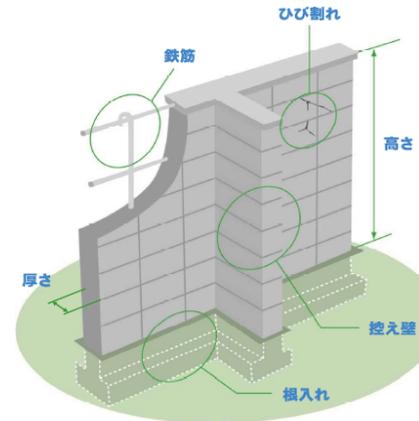
◎予算内容 補助金 700千円

- ・危険なブロック塀等の撤去に要した費用又は延長1m当たり10,000円を乗じた額のいずれか低い額の2/3（10万円を限度）の額を補助

**【今後の予定】**

令和2年度から令和6年度まで、補助事業を実施していきます。

**ブロック塀の点検のチェックポイント**



ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか  
・塀の高さは地盤から2.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か  
・塀の厚さは10cm以上か。（塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上）
- 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが1.2m超の場合）  
・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか  
・コンクリートの基礎があるか。
- 5. 塀は健全か  
・塀に傾き、ひび割れはないか。
- 6. 塀に鉄筋が入っているか  
・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。  
・基礎の根入れ深さは30cm以上か。（塀の高さが1.2m超の場合）

出典：パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1 より一部改

**期待される効果・成果目標等**

茨城県南部地震等、土浦市内でも被害が生じる地震が今後発生すると予測されています。地震の発生に備え、危険なブロック塀等への対策を促進することで、災害時の被害減少に寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

**神立駅西口地区土地区画整理事業**

(継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

<b>予算額</b>		302,642		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成24年度～令和3年度	全体事業費	5,550,000
		地方債	243,600	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	5 生活拠点となるコンパクトな市街地の整備		
		一般財源	59,042	施策の内容	1 神立駅周辺地区の整備		

**事業の目的**

かすみがうら市と一部事務組合を設立し、神立駅周辺地区において、土地区画整理事業等により西口駅前広場及び都市計画道路神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備し、質の高い市街地の形成を推進します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成29年度 区画整理 第1工区着工，新駅舎・自由通路一部供用開始  
 平成30年度 区画整理 第2工区着工，新駅舎・自由通路 完成  
 令和元年度 区画整理 第3工区，第4工区，第5工区 着工

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

概要	事業費
土地区画整理事業負担金	270,674
事務費・派遣職員人件費	31,968
合計	302,642

**【今後の予定】**

令和3年度 造成工事，駅前西通り線整備工事，駅前広場工事



区画整理事業 設計図

**期待される効果・成果目標等**

駅前広場，駅前西通り線，神立停車場線等の都市基盤を一体的に整備することにより，本市の北の拠点としてふさわしい市街地が形成されます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

**荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業（継続）**

担当	建設部 公園街路課
----	--------------

<b>予算額</b>		<b>290,279</b>		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	143,891	事業期間	平成26年度～令和4年度
		地方債	131,400	施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備
	一般財源		14,988	施策の内容	2 都市計画道路等の整備
		全体事業費	1,332,077		

**事業の目的**

都市計画道路真鍋神林線から国道354号までの3車線区間（Ⅰ期：L=1,300m）を4車線化することにより、道路ネットワークの強化及び交通渋滞緩和を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

令和元年度は、道路改良工事及び用地買収等を実施しました。

**【今年度事業内容】**

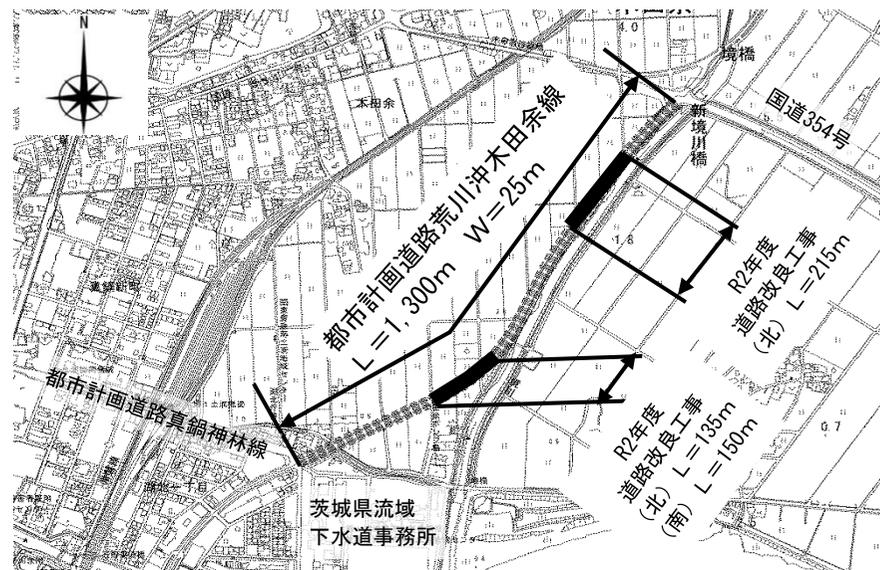
令和2年度は、道路改良工事及び用地買収等を実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
工事請負費	道路改良工事等	252,200
公有財産購入費	用地買収	10,782
補償補填及び賠償金	物件補償	27,000
需用費等	補償鑑定, 消耗品等	297
計		290,279

**【今後の予定】**

令和4年度末までの事業完了を目指します。また、Ⅱ期事業区間（県事業270m・市事業730m）の市事業区間については、平成30年度より基礎調査を行い、令和元年度には橋梁及び道路予備設計を委託しています。今後は県整備事業と重なる区間もあるため、県整備事業の進捗に合わせ計画を進めて行きます。



荒川沖木田余線（Ⅰ期）整備事業箇所図

**期待される効果・成果目標等**

当該区間の4車線化により道路ネットワークが強化され、物流・防災機能の向上が図られるとともに、市街地の交通渋滞緩和及び安全性の向上が期待できます。

**まちなか定住促進支援事業**

(継続)

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

<b>予算額</b>		20,500		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	10,250	事業期間	平成26年度～令和5年度
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成
	一般財源		10,250	施策の内容	2 まちなか居住の促進
				全体事業費	142,203

**事業の目的**

中心市街地活性化基本計画に基づき、質の高いコンパクトなまちづくりを推進するため、定住促進を図る支援制度を活用し、居住人口増加による活力とにぎわいある中心市街地の再生を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

中心市街地活性化基本計画に基づき、平成26～令和元年度の間に家賃補助155件、購入補助79件を実施しました。(令和元年度は令和元年12月末までの実績)

年度	家賃補助	購入補助	転用補助
平成26年度	2件	8件	-
平成27年度	20件	20件	-
平成28年度	35件	36件	-
平成29年度	37件	5件	-
平成30年度	32件	7件	-
令和元年度	31件	3件	0件
合計	155件	79件	0件

**【今年度事業内容】**

令和元年度を初年度とする第二期中心市街地活性化基本計画に基づき、以下の事業を行います。

- ①まちなか賃貸住宅家賃補助 9,000千円 市外から中心市街地の賃貸住宅に住み替える世帯のうち、新婚又は子育て世帯に対し、家賃の1/2(上限2万円)を補助します。
- ②まちなか住宅購入補助 10,000千円 市外から中心市街地に住宅を新築又は購入して住み替える世帯のうち、新婚世帯又は子育て世帯に対し、住宅購入借入金の3%(上限50万円)を補助します。
- ③まちなか住宅転用補助 1,500千円 中心市街地の空きビル等を住宅へ用途変更する者に対し、その転用工事費の1/2(上限50万円)を補助します。

**【今後の予定】**

第二期中心市街地活性化基本計画の計画期間の令和5年度まで実施し、中心市街地への定住促進を図ります。

**期待される効果・成果目標等**

中心市街地への居住の集約を図り、中心市街地における活力とにぎわいのあるまちづくりに寄与します。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

**スマートインターチェンジ設置可能性検討事業**

**(新規)**

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

<b>予算額</b>		5,800		(単位：千円)			
財 源 内 訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	5,800
		地方債		施策の大綱	2-6 快適でゆとりのあるまちづくり		
		その他		施策名	2 持続的な発展を支える高質な都市基盤の整備		
		一般財源	5,800	施策の内容	2 都市計画道路等の整備		

**事業の目的**

スマートインターチェンジは、地域生活の充実や地域経済活性化が期待できることから、その整備可能性について検討します。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

本市におけるスマートインターチェンジの必要性や設置候補箇所の検討、概略設計を行うとともに、関係機関との協議を実施することにより、スマートインターチェンジの設置可能性について調査します。

(単位：千円)

概 要	事業費
スマートIC設置可能性調査委託料	5,800
計	5,800

**【今後の予定】**

スマートインターチェンジの利用交通量や社会便益の算出等を実施し、事業の実現性をより詳細に検討・検証します。

**期待される効果・成果目標等**

スマートインターチェンジは、渋滞緩和、地域経済の活性化や観光振興など、多くの整備効果が期待されることから、スマートインターチェンジ設置可能性検討調査を実施することで、事業実施に向けた、国の新規事業化や許可を取得するための、関係機関との協議資料及び検証結果が得られます。

款	土木費	項	都市計画費
---	-----	---	-------

**土浦港周辺広域交流拠点民間事業者誘導事業 (継続)**

担当	都市産業部 都市計画課
----	----------------

<b>予算額</b>		9,823		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金	4,650	事業期間	令和元年度～令和2年度
		地方債		施策の大綱	2-3 活力とにぎわいのあるまちづくり
		その他		施策名	1 広域的な拠点としての中心市街地の形成
	一般財源	5,173	施策の内容	3 土浦駅東口地区のまちづくり	全体事業費

**事業の目的**

土浦港周辺広域交流拠点基本計画に基づき、土浦港に隣接する川口二丁目の市有地に官民連携による観光拠点を整備することにより、中心市街地の活性化及びにぎわいの創出を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成30年度に市が先行整備を行った「りんりんポート土浦」の南側の市有地について、令和元年度は、民間事業者による誘客・集客施設等の整備可能性について対話を進め、誘致に関する検討を進めました。

**【今年度事業内容】**

市有地の用地測量などを行い、事業化に向けた手続きを進めます。

- ・用地測量委託 9,300千円
- ・事務費等（報償費・旅費・需用費） 523千円

**【今後の予定】**

民間活力を導入して多くの方々が訪れる魅力ある空間を整備し、水辺のにぎわいづくりを進めていきます。



位置図

**期待される効果・成果目標等**

市有地の有効活用に民間活力を導入することにより、効果的な中心市街地の活性化及びにぎわいの創出に寄与します。

款	消防費	項	消防費
---	-----	---	-----

**常備消防車両更新事業**

(新規)

担当	消防本部 総務課
----	-------------

<b>予算額</b>		40,405				(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金	15,081	事業期間	令和2年度		全体事業費	40,405	
		地方債	21,700		施策の大綱	2-1 市民が主役の安心・安全なまちづくり			
		その他				施策名			3 市民の生命と財産を守る消防・救急体制の充実
	一般財源	3,624	施策の内容	2 救急・救助業務の充実					

**事業の目的**

長年の使用により性能が劣化した消防車両を計画的に更新整備し、消防力の基幹である消防車両の活動能力の維持を図り、より一層の安心安全な市民生活を実現します。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

◎令和2年度 更新整備車両

更新車両：高規格救急自動車 1台

配置：土浦消防署

全体事業費：40,405千円

※緊急消防援助隊設備整備費補助金を要望し、更新整備予定です。

**【今後の予定】**

消防車両を計画的に更新していき、消防力の充実を図ります。



高規格救急自動車

**期待される効果・成果目標等**

消防力の基幹である消防車両を更新整備することにより、救急・救助業務を含む消防体制の充実を図り、安心・安全なまちづくりに寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

**教育委員会バス更新事業**

**(新規)**

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

<b>予算額</b>		15,145				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	15,145
		地方債	13,500	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源		1,645	施策の内容	3 教育内容の充実		

**事業の目的**

校外学習等に使用する大型バス3台のうち1台については、運行開始から20年が経過し、車両の老朽化が著しいことから、該当する大型バス1台について、バスの運行状況等を踏まえて、環境に配慮した低公害型の中型バスに更新を行います。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

◎購入予定車両／中型バス（乗車定員45人）

・車両購入費	15,044千円
・自賠責保険料	16千円
・リサイクル料	44千円
・自動車重量税	41千円
合計	15,145千円



更新予定車両

**期待される効果・成果目標等**

小・中・義務教育学校及び幼稚園の教育計画に基づく校外学習、宿泊学習、児童生徒が参加する体育大会やコンクール等の際に当該バスを使用することで、幼児教育及び学校教育の充実に寄与します。

また、低公害車両を導入することで、自然環境への負荷低減に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

**就学前教育推進事業 (継続)**

担当	教育委員会 文化生涯学習課
----	------------------

<b>予算額</b>		4,487		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源		4,487	施策の内容	1 幼児期の教育の推進
				全体事業費	4,487

**事業の目的**

幼児期から児童期にかけては、育ちと学びの基礎を培う大切な時期であり、互いの教育を見通し、連続性・一貫性のある教育を行う必要があります。そこで、就学前教育・家庭教育を推進し、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

就学前教育推進員2名を配置し、幼児教育施設と小学校との連携・接続に関する実態調査を行い、保幼小連携について具体的方策を検討するため関係課による連絡調整会議を開催しました。

**【今年度事業内容】**

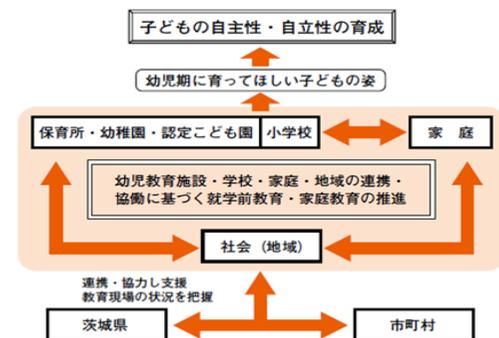
幼児教育施設、小学校、家庭や地域、関係機関等の代表者と学識経験者で構成する「保幼小連携協議会」を設置し、保幼小連携についての協議を進めます。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報酬・手当等	就学前教育推進員2人	4,236
報償費	保幼小連携協議会委員謝礼	236
需用費	消耗品等	15
計		4,487

**【今後の予定】**

引き続き「保幼小連携協議会」を開催し、保幼小連携についての協議を進めるとともに、幼児教育施設と小学校への訪問指導の充実を図ります。



**※茨城県就学前教育・家庭教育推進  
ビジョンより抜粋**

**期待される効果・成果目標等**

幼児教育施設と小学校との連携を深め、集団生活に必要な基本的な生活習慣や社会性等を養う教育を行うことにより、子どもたちの自主性・自立性・規範意識が生まれ、幼児教育から小学校教育への円滑な接続に寄与します。

款	教育費	項	教育総務費
---	-----	---	-------

**道徳教育アドバイザー配置事業**

**(新規)**

担当 教育委員会  
指導課

<b>予算額</b>		1,962				(単位：千円)	
財 源 内 訳	特 定 財 源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	1,962
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	1,962	施策の内容	4 豊かな心を育む教育の推進			

**事業の目的**

道徳教育アドバイザーを任用し、小・中・義務教育学校における道徳教育を充実させることで、児童・生徒の豊かな情操と道徳心を培います。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

いじめに正面から向き合う「考え、議論する道徳」を行うため、小学校では平成30年度から、中学校では令和元年度から道徳が教科となっています。多様な指導方法の導入や、創意工夫を生かした授業づくりに向けて、道徳教育アドバイザーを任用し、教員の指導力を高め、道徳教育の充実を図ります。

◎道徳教育アドバイザーが市内公立学校の全教室を訪問し、担任教師に対してのアドバイスや、担任と共に授業を行うことで、指導力の向上を図ります。

◎予算内容 報酬等 1,962千円

**【今後の予定】**

事業内容・効果を検証し、道徳教育の更なる充実を図ります。



「考え、議論する道徳」の授業

**期待される効果・成果目標等**

授業の補助及び教員への指導・研修等を通して、教員の指導力向上や、児童・生徒の豊かな心の更なる育成が期待できます。

款	教育費	項	小学校費・中学校費
---	-----	---	-----------

**小学校／中学校空調機器整備事業 (新規)**

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

<b>予算額</b>		25,135	(単位：千円)
財源内訳	特定財源	事業期間	令和2年度～令和4年度
	国県支出金	全体事業費	50,149
	地方債	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
	その他	施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
一般財源	25,135	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実

**事業の目的**

近年、猛暑日が増加していることから、温度と湿度の適正管理が不十分な環境となっている小中学校の給食配膳室に、年次計画で空調機器を設置します。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

令和2年度は、小学校（13校）、中学校（8校）の給食配膳室等への空調機設置工事の実施設計を行います。また、小学校の給食配膳室に空調機器を設置します。

(単位：千円)

	対象校	概要	事業費
設計	下高津小，東小，大岩田小，真鍋小，荒川沖小，中村小，第二小，上大津東小，神立小，右靱小，都和南小，乙戸小，菅谷小（13校）	・給食配膳室等への空調機設置工事の実施設計 （受変電設備改修工事の実施設計を含む）	10,692
	第一中，第二中，第三中，第四中，第五中，第六中，都和中，新治学園（8校）		7,755
備品	東小，大岩田小，荒川沖小，中村小，第二小，上大津東小，神立小，右靱小，乙戸小，菅谷小（10校）	・配膳室への空調機器設置 ・上記設置に伴う，コンセント設置等の付帯電気工事	6,688
合 計			25,135

**【今後の予定】**

残りの小中学校についても、年次計画で空調機器を設置します。（土小，都和小は改築時に設置済み）

**期待される効果・成果目標等**

給食配膳室の温度と湿度の適正管理により、児童・生徒への安心・安全な給食提供に寄与します。

**学校教育施設長寿命化計画策定事業 (新規)**

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

<b>予算額</b>		20,500				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	20,500
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	一般財源	20,500	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実			

**事業の目的**

土浦市公共施設等総合管理計画に基づき、学校教育施設の長寿命化計画を策定することで、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校教育施設に求められる機能・性能を確保します。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

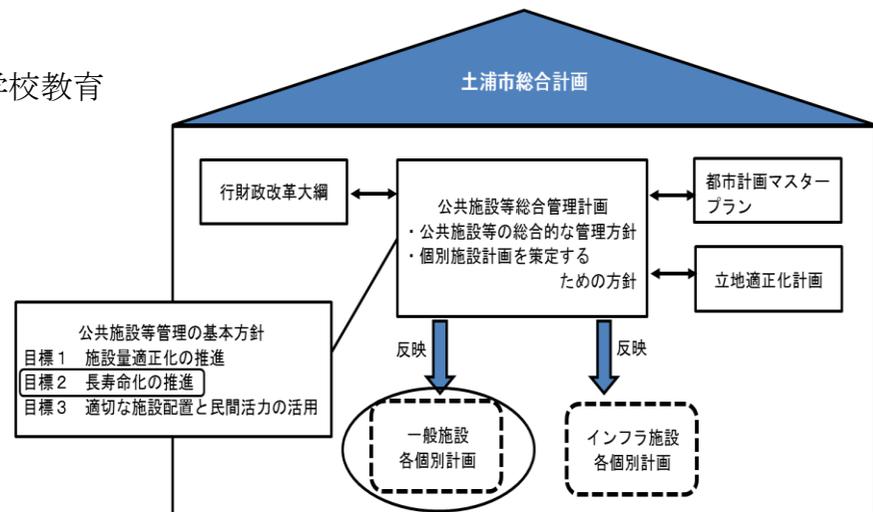
校舎、体育館（武道場を含む）で概ね200㎡以上の建物及びプール等の学校教育施設について、長寿命化及び改修等の長期計画を策定します。

区分	校数	事業費
小学校	15	12,850
中学校	7	5,950
義務教育学校	1	850
幼稚園	1	850
合計	24	20,500

(単位：千円)

**【今後の予定】**

今後は本計画に基づき、適切な施設整備や施設の維持管理を行います。



**期待される効果・成果目標等**

本計画に基づき、適切な施設整備や施設の維持管理を行うことで、児童・生徒の教育環境の充実に寄与します。また、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ります。

款	教育費	項	小学校費
---	-----	---	------

**小学校適正配置推進事業（継続）／上大津地区統合小学校整備事業（新規）**

担当	教育委員会 学務課・教育総務課
----	--------------------

<b>予算額</b>		8,076		(単位：千円)			
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成29年度～令和2年度	全体事業費	12,136
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
		一般財源	8,076	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実 10 小学校の適正配置		

**事業の目的**  
 平成24年度に策定した「土浦市立小学校適正配置実施計画」に基づき、適正規模に満たない小学校が複数ある上大津地区について、土浦市上大津地区小学校適正配置実施計画を策定し、児童たちの教育環境の充実を目指します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**  
 平成29年度～令和元年度  
 ○上大津地区小学校適正配置検討委員会の設置及び開催  
 ○上大津地区小学校の保護者及び地域住民説明会の開催  
 ○上大津地区小学校適正配置実施計画の中間提言（平成30年11月）  
 ○上大津地区小学校適正配置実施計画の最終提言（令和2年3月）

**【今年度事業内容】**  
 ○上大津西小学校を菅谷小学校に暫定的に統合（令和2年4月1日）  
 ○「上大津地区小学校適正配置実施計画」の策定  
 ○新たな上大津地区小学校開校準備協議会の設置及び開催  
 ○新校舎建設の整備基本計画の策定  
 ○新校舎建設の検討委員会・ワークショップの設置及び開催

**【今後の予定】**  
 ○新校舎建設の整備基本計画に基づく、基本設計・実施設計の実施

(単位：千円)		
区分	概要	事業費
報償費	新校舎建設の検討委員会及びワークショップ	434
需用費	消耗品等	30
委託料	整備基本計画の策定	7,612
合計		8,076

**期待される効果・成果目標等**  
 集団の中での社会性の育成など、児童たちの教育環境の充実が図られます。

**小学校／中学校施設大規模改造事業 (新規)**

担当	教育委員会 教育総務課
----	----------------

<b>予算額</b>		7,900		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度～令和3年度
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり
		その他		施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実
	一般財源	7,900	施策の内容	9 学校施設やICT機器の整備・充実	全体事業費

**事業の目的**

大規模改造工事が未実施で、経年劣化等で老朽化が著しい小中学校のトイレについて、老朽化した給排水管の更新及び洋式化等の改修工事を行い、トイレ環境の改善を図ります。

**事業の概要**

**【今年度事業内容】**

令和2年度は、対象となる小学校3校（16箇所）、中学校1校（8箇所）のトイレ改修工事の実施設計を行います。

(単位：千円)

対象校	概要	事業費
小学校： 神立小学校，乙戸小学校， 都和南小学校	老朽化した給排水管の 更新及び洋式化等の実施 設計	5,700
中学校：都和中学校		2,200
合計		7,900



平成29年度 大規模改造工事実施  
第六中学校 男子トイレ・女子トイレ

**【今後の予定】**

令和3年度は、令和2年度に実施設計を行った小学校3校、中学校1校のトイレ改修工事を行います。

**期待される効果・成果目標等**

トイレ改修工事を行うことで、トイレ環境が改善され、児童・生徒の教育環境の充実に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」総合調査事業

(新規)

担当

教育委員会  
文化生涯学習課

予算額		350				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度～令和4年度	全体事業費	1,580
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
		一般財源	350	施策の内容	3 文化財の保護と活用		

事業の目的

平成30年3月に国選択無形民俗文化財に選定された「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」について、記録保存を図りながら総合的な学術調査を実施し、文化財・地域固有の歴史資源としての価値を高めます。

事業の概要

【これまでの経緯】

「霞ヶ浦の帆引網漁の技術」については、平成30年3月に国選択無形民俗文化財に選定されました。この選定を契機に、帆引網漁についての学術的な調査を行うため、令和元年11月に土浦市・かすみがうら市・行方市の帆引網漁関係者及び学識経験者等から成る「『霞ヶ浦の帆引網漁の技術』総合調査委員会」を設立しました。

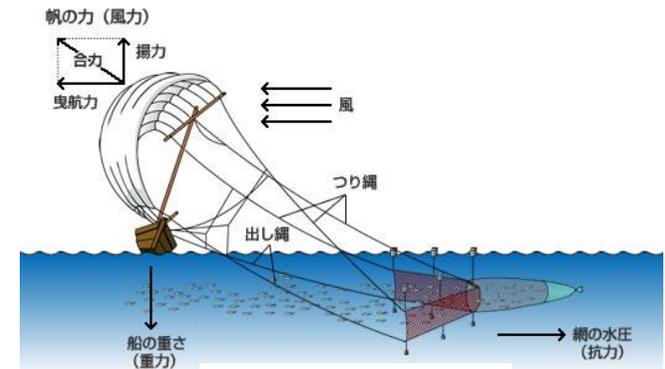
【今年度事業内容】

令和2年度より、調査委員会において、帆引網漁法の技術の記録化のための実地調査、伝承者からの聞き取り調査、資料の所在調査などを行います。

なお、本委員会の調査費用については、1/2を国が、残り1/2を土浦市・かすみがうら市・行方市が負担します。(令和2年度 国：1,050千円、土浦市：350千円、かすみがうら市：350千円、行方市：350千円)

【今後の予定】

令和3年度：本調査(前年度に継続)、令和4年度：補足調査、報告書刊行



帆引網漁の技術

事業費合計(単位:千円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	負担合計
国補助		1,050	1,350	2,340	4,740
各市負担	かすみがうら	350	450	780	1,580
	行方	350	450	780	1,580
	土浦	350	450	780	1,580
各年合計		2,100	2,700	4,680	9,480

期待される効果・成果目標等

総合的な学術調査を実施することで、文化財・地域固有の歴史資源としての価値を明らかにするとともに、観光資源としての帆引船の魅力向上に寄与します。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

**特別展・企画展事業(上高津貝塚ふるさと歴史の広場) (継続)**

担当	上高津貝塚ふるさと歴史の広場
----	----------------

<b>予算額</b>		992		(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	事業期間	令和2年度	全体事業費	992
	国県支出金	施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
	地方債	施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
	その他	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実		
	一般財源		992		

**事業の目的**

本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を特別展や企画展の展示を通して広く公開することで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化財保護に対する意識の醸成を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成7年度の開館以降、考古資料から本市の歴史を探る特別展や企画展を開催しています。

**【今年度事業内容】**

第23回企画展「(仮)常陸武士団の成立ー平安末期から鎌倉期の考古学的様相ー」

会 期：令和2年10月中旬～12月上旬

内 容：市政施行80周年記念として、土浦地域の遺跡や考古資料にテーマを定めた企画展を実施します。今回は、平安時代後半から鎌倉時代にかけて全国的に武士団が成立した時期の土浦周辺の様相を、政治・宗教・社会等の様々な視点から探ります。

**【今後の予定】**

博物館や図書館などと協力しながら企画・イベントを開催し、調査研究成果の公開に努めます。

(単位：千円)

区 分	概 要	事業費
報償費	講演会講師謝礼	50
需用費	パンフレット印刷等	350
役務費	通信運搬費 筆耕料	532
その他	旅費 有料道路使用料	60
合 計		992



入ノ上遺跡(沖宿町)出土小皿

**期待される効果・成果目標等**

市民の埋蔵文化財への理解が深まるとともに、更なる文化財保護の機運が高まる契機となることが期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

**市民会館耐震化及び大規模改造事業 (継続)**

担当 教育委員会  
文化生涯学習課

<b>予算額</b>		18,101				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	平成29年度～令和2年度	全体事業費	2,186,360
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他	4,150	施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
		一般財源	13,951	施策の内容	2 文化施設等の整備と活用		

**事業の目的**

土浦市民会館は、昭和44年の竣工から長期間が経過し、老朽化が著しく、耐震補強も必要であると診断されていることから、施設の耐震化を図るとともに、老朽箇所などの大規模な改造を行い、施設を安心・安全で快適に利用できるように整備します。また、利用者の利便性を高めるため、併せて駐車場の拡張工事も実施します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成29年度に改修設計業務を、平成30～令和元年度に改修工事を、令和元年度に駐車場拡張工事等を行いました。

**【今年度事業内容】**

令和2年度は、備品の搬入や引越し、各種機器の試運転調整を行い、5月24日（日）にリニューアルオープン記念式典を開催します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
引越費用	外部に保管していた備品、ピアノ等の移転費用等	3,280
備品購入費	老朽化した備品の更新費用	13,648
その他	記念式典に伴う市民会館使用料等	1,173
計		18,101

**[施設の概要]**

- ・構造 鉄筋コンクリート造（地上3階）
- ・延床面積 5,925㎡（機械室棟等を含む）
- ・竣工 昭和44年2月

**[工事内容]**

- ・耐震補強工事
- ・天井脱落防止対策
- ・舞台機構改修
- ・トイレ改修
- ・客席交換
- ・エレベーター設置
- ・駐車場拡張工事等



土浦市民会館（改修イメージ）

**期待される効果・成果目標等**

耐震化補強及び老朽化箇所の改修工事等を実施することで、施設の安全性確保及び延命が図られます。また高機能化及びバリアフリー設備の改善により、文化・芸術活動の拠点として、市民等が更に利用しやすくなります。

また、駐車場を拡張することで、イベント開催時の駐車場不足の改善も期待されます。

款	教育費	項	社会教育費
---	-----	---	-------

**重要資料公開推進事業(博物館)**

(継続)

担当	教育委員会 博物館
----	--------------

<b>予算額</b>		7,999				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	7,999
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	4 歴史・芸術・文化の薫り高いまちづくり		
	一般財源	7,999	施策の内容	6 博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場活動の充実			

**事業の目的**

特別展やテーマ展などの展示を通して、本市の歴史や文化遺産の調査研究成果を広く公開・発信し、国宝や重要文化財など貴重な資料を身近に感じる機会をすることで、市民の生涯学習に対する要望に応えるとともに、地域の文化向上を図ります。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

開館以来、特別展や企画展などで、本市の特徴を紹介しています。

**【今年度事業内容】**

◎第41回特別展「土浦城一時代を越えた継承の軌跡」

令和2年3月14日（土）～令和2年5月6日（水）

続日本100名城選定記念・市制施行80周年記念とし、本市のシンボル土浦城の歩んできた軌跡を紹介します。

◎第42回特別展「(仮) 経典に託す願い—東城寺経塚とその後の時代」 令和3年3月20日（土）～令和3年5月5日（水）

東城寺経塚群（茨城県指定文化財）は、令和3年が発見130年目の節目です。経塚の意味や人々の経典に託した思いを紹介します。

**【今後の予定】**

◎特別展やテーマ展などの展示を通して、土浦市民の歴史や文化財に対する興味を高めます。

◎上高津貝塚ふるさと歴史の広場と協力し、市外・県外からの集客も見込める企画を継続します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
報償費	講師・資料提供者謝礼	270
需用費	図録・ポスター等印刷	3,487
役務費	通信運搬費、筆耕料、撮影料	3,914
その他	旅費、会場使用料等	328
合計		7,999



東城寺経塚群

**期待される効果・成果目標等**

市内の歴史や文化に関わる資料を調査研究し、その成果を公開することにより、市民の地域文化への理解が深まるとともに、文化財保護の機運が高まる契機となることが期待できます。

款	教育費	項	保健体育費
---	-----	---	-------

## 新治運動公園整備事業

(新規)

担当 教育委員会  
スポーツ振興課

予算額		3,500				(単位：千円)	
財源内訳	特定財源	国県支出金		事業期間	令和2年度	全体事業費	3,500
		地方債		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
		その他		施策名	5 すべての市民がスポーツ・レクリエーションに親しむまちづくり		
	一般財源	3,500	施策の内容	2 スポーツ・レクリエーション施設の適正管理と利用促進			

### 事業の目的

新治運動公園多目的グラウンドの人工芝化を推進するに当たり、その整備手法について多角的な検証を行います。  
また、現状の駐車場不足に加え人工芝整備後に利用者増が見込まれることから、今後の駐車場整備に係る調査も併せて行います。

### 事業の概要

#### 【今年度事業内容】

◎新治運動公園多目的グラウンド人工芝整備手法等調査委託料 3,500千円

#### ◎主な委託内容

- ・直接施工とリース方式について、ライフサイクルコスト等の詳細を比較検証
- ・既存暗渠排水設備は整備後20年以上経過しており、水はけが悪いことから排水機能の調査及び修繕等が必要な場合の事業費の調査
- ・公園内での駐車場増設の検討

#### 【今後の予定】

調査結果を参考に、令和3年度以降、整備事業を進めていきます。



新治運動公園

### 期待される効果・成果目標等

多目的グラウンドの人工芝化及び駐車場の整備を行うことにより、利用者の利便性の向上を図ります。

**学校給食センター再整備事業**

(継続)

担当	教育委員会 学務課
----	--------------

<b>予算額</b>		1,245,432				(単位：千円)
財源内訳	特定財源		事業期間	平成24年度～令和2年度	全体事業費	3,500,595
	国県支出金		施策の大綱	2-2 心豊かな教育・文化・スポーツのまちづくり		
	地方債	780,800	施策名	1 生きる力と確かな学力を育む学校教育の充実		
	その他		施策の内容	8 学校給食の充実		
	一般財源	464,632				

**事業の目的**

第一学校給食センター及び第二学校給食センターは、両施設ともに老朽化が著しく、また、耐震基準を満たしていないことなどから、これらを統合して旧新治庁舎跡地に1センター方式として再整備します。

**事業の概要**

**【これまでの経緯】**

平成28・29年度 基本・実施設計、平成30年度 建築工事契約締結、工事着工

**【今年度事業内容】**

(単位：千円)

区分	概要	事業費
需用費	食器・配膳消耗品（債務負担行為）、給食リハーサル賄材料費	138,147
役務費	建築物完了検査手数料、昇降機完了検査手数料 等	1,631
委託料	工事監理業務委託（継続費）、引越運搬委託	5,450
使用料及び賃借料	学校給食管理システム維持管理費	528
工事請負費	工事費（継続費）	480,180
備品購入費	厨房機器・家具備品（債務負担行為） 等	619,496
計		1,245,432



令和元年12月現在の整備状況

**【今後の予定】**

令和2年5月末までに建築工事を完了し、備品・消耗品購入、引越作業等を進め、令和2年9月からの給食の提供開始を目指します。

**期待される効果・成果目標等**

安心・安全でおいしい学校給食を継続して提供できるとともに、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応が可能となります。また、地元で生産された安全で新鮮な食材を積極的に取り入れることで、地産地消や食育の推進に寄与します。